

■欧州：欧州首脳会議で原子力発電所に対する安全性検査実施を決定

2011年3月25日にブリュッセルで開催された欧州連合首脳会議において、EU圏内で稼働している全原子力発電所143基について、洪水、大規模停電、地震、津波、テロ攻撃などの脅威に耐え得るかの安全性検査（ストレス・テスト）を実施することが合意された。今後、欧州委員会およびENSREG（欧州原子力安全規制機関グループ）が検査の範囲（採用すべき共通のチェック基準）や実施方法を整備し、各国が実施したテスト結果より安全性を評価する。欧州委員会ではストレス・テストを2011年下期に実施、年内の評価完了を目指す。この検査では「最上級の安全基準を設定する」とともに、EU加盟国以外の周辺国に対しても同様の検査の実施を呼びかけていくとしている。